

少年は川をわたった

野長瀬正夫作・井田照一版画



NDC 911

8093-01752-7159

134ページ

21 cm

少年は川をわたった

昭和52年 8 月 25 日

第 1 刷

著者 野長瀬正夫

発行者 大邊 豊

発行所 PHP 研究所

〒601 京都市南区西九条北ノ内町11

電話 075(681)4431<代表>

印刷所 東洋印刷株式会社

©1977 Masao Nonagase. Printed in Japan

乱丁・落丁本はご面倒ですが弊所出版部宛お送り下さい。送料幣所負担にてお取替え致します。

(定価はカバーに指示してあります)

少年は川をわたった

野長瀬正夫作・井田照一版画



装幀画・装幀デザイン 井田照一

少年は川をわたった・もくじ



木によせる四つの組詩

一本の木

10

木と少年

14

泰山木たいざんぼくの下で

16

木は美しい

20

ある夏

22

少年は川をわたった

24

少女たちは峠とうげの道を登っていった

小さな葬列そうれつ

42

青く、はてしない海へ！

47

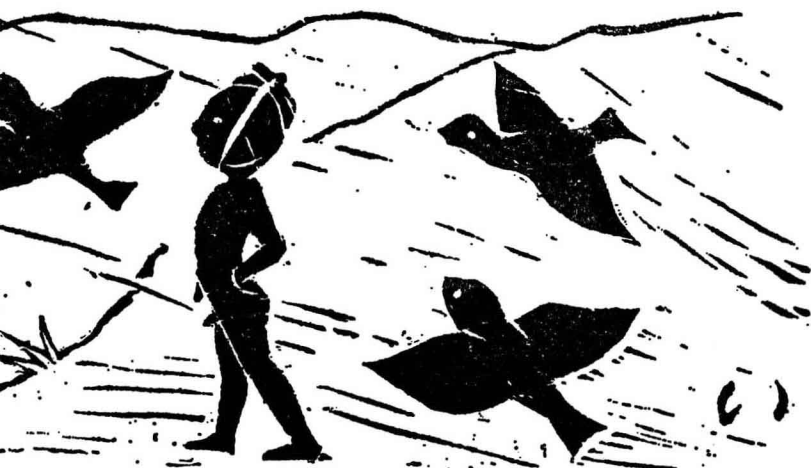
ふるさとへの道

序詩じょし

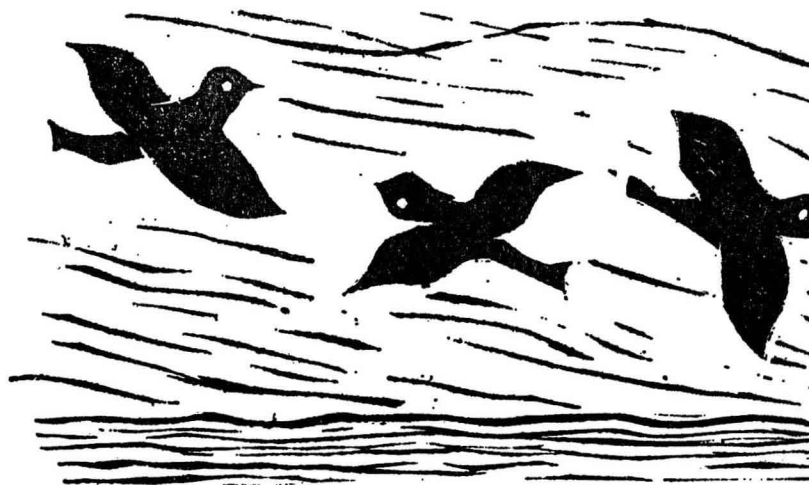
ふるさと

55

32



わたしは帰る	56
バスの中	58
天辻峠 (一)	60
天辻峠 (二)	62
ダム・サイド	64
ひとすじの煙	66
集落	68
村の吊橋	70
ひとすじの道	72
十津川村役場	74
立ち話	76
生まれ在所	77
幼ともだち	79



きえた麦畑

80

水のない川

82

石垣すみれ
いしがき

84

タンポポ

85

山の墓地
ぼち

86

のちの秋

88

ふるさと今昔
こんじやく

90

ゆめのあと

古いひき臼
うす

98

同級生

100

畑のすみで

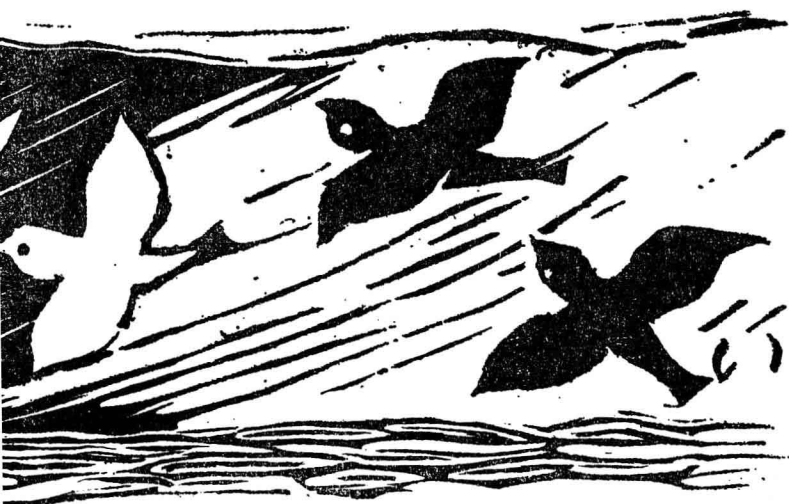
102

湯泉地温泉
とうせんじおんせん

104

こわれた炭がま

106



けんりつ
県立十津川高校(一)

県立十津川高校(二)

水車のつぶやき

星を見る 114

思い出 116

おおつろ
大津呂のぞき 118

たまきやま
玉置山 122

妹の家 124

十津川温泉 128

あしのせがわ
芦廼瀬川 130

ゆるけい
ふるさと夕景 132

112

110 108



著者・野長瀬正夫 (のながせ・まさお)

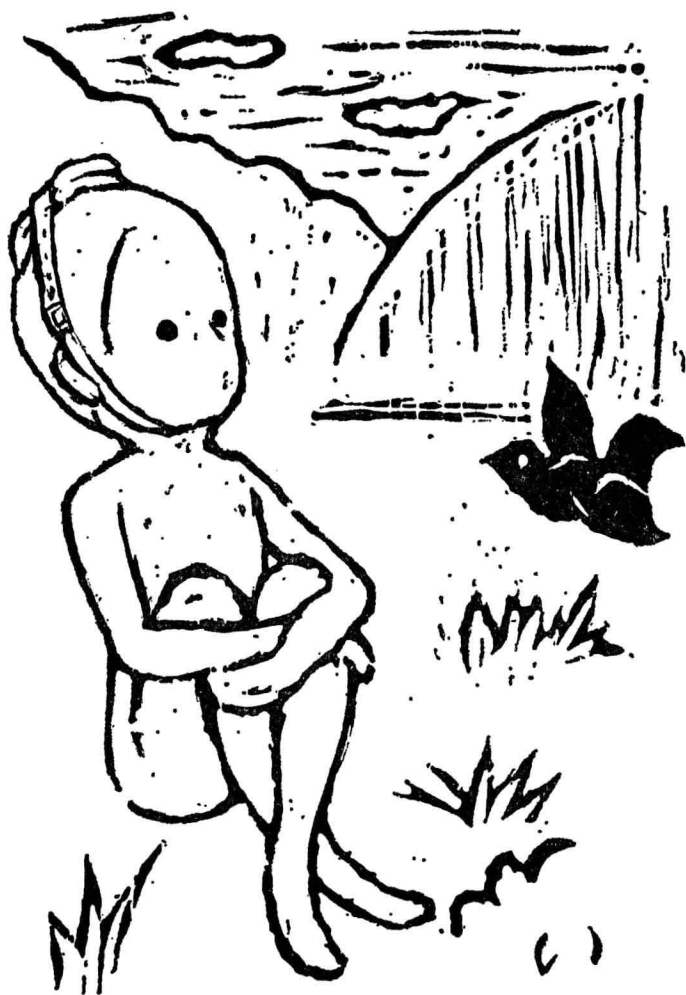
1906年、奈良県生まれ。教員生活の後、上京。金の星社勤務のかたわら、詩を書きつづけている。「小さなぼくの家」で野間児童文芸賞、赤い鳥文学賞受賞。現住所 〒170 東京都豊島区南大塚 3-19-5

画家・井田照一 (いだ・しょういち)

1941年。京都市生まれ。65年、京都市立美術大学西洋画科専攻科卒業。毎年、個展・グループ展を、世界各地で開催。東京国際版画ビエンナーレ展文部大臣賞、日本現代版画大賞展優秀賞を受けている。現住所 〒603 京都市北区大北山鏡石町4-5-2

少年少女詩集

少年は川をわたった



木によせる四つの組詩

一本の木

山手線・T駅ホームの前の

線路と線路のあいだに

一本の木が生えている

あんな所へ わざわざ植えるわけがない

多分、しぜんに生えたのであろう

高さも今は二メートル以上になって

毎年、春先になると芽ぶき

秋には線路の上に落葉する

あれはいつたい何の木であろうか

ぼくは時どき

電車の中でくびをかしげる

そして考える

ある日、ハイキング帰りの小学生が

窓からポイと投げた何かの木の実

それが石ころの間から芽を出した

駅の職員も保線夫たちも

かれんな双葉を抜きとるにしのびなくて

ついそのままにしておいた

ぼくは、こんな推理をして

なんとなく うれしくなったりする

この駅は国鉄労組の拠点の一つで

引き込み線の貨車かしゃの横ばらっ腹には

「断固だんこう闘争」

「スト決行」などと

いつも手きびしい国鉄さんではあるが――。



不
下
決
行



木と少年

少年が一人

木にしがみつくように顔を押しつけたまま

背中をむけて立ちすくんでいる

その姿勢が気にかかったので

ぼくはふと、散歩の足をとめた

かれは もっと小さい時だったら

だれの前でもかまわずに

大声をあげて泣くこともできただろうに

今はもう、それができない年ごろなのだ

だから一人で この森に来た

ぼくには

かれのつらい気持ちがよくわかったので

自分も胸^{むね}がくるしくなってきた

父なる森の老樹^{ろうじゅ}よ

どうか聞いてやっておくれ

声をあげて泣けない少年の悲^{かな}しみを！

今のかれには

おまえよりほかにたよるものがないのだ。